

特別展観覧料金( )内は団体料金  
 一般 300円 | 小・中学生 150円  
 (210円) (105円)

※団体は20名以上。  
 ※以下の方は証明書を提示することで無料で観覧いただけます。  
 ・市内在住の小中学生及び市内に通学する児童  
 ・市内に住所のある方で、65歳以上の方、身体障害者手帳の交付を受けた方と介護者1名、療育手帳の交付を受けた方と介護者1名、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方と介護者1名、鎌倉市原子爆弾被害者の援護に関する条例に基づく援護資格認定者の交付を受けた方

鎌倉の映画人

# 女優 田中絹代



2009年、生誕百年を迎えた映画女優・田中絹代。半世紀に及ぶ映画人生を絶えずスター女優として過ごした、日本映画史上稀有な映画人の一人です。サイレント期の可憐な娘役で人気を博し、トーキー時代を迎えてその地位を不動のものとなりました。戦後間もなく親善使節として民間人初渡米の栄誉を得、溝口健二監督による作品で国際的評価も受けました。晩年の作品「サンダカン八番娼館・望郷」でのベルリン国際映画祭主演女優賞受賞は彼女の最高の栄誉でしょう。田中は松竹撮影所の大船移転とともに鎌倉に移住、鎌倉山の『絹代御殿』で映画人生を全うしました。彼女の映画史を再現すると共に、波乱の一生を資料で回顧する企画展に是非お越し下さい。

(10月12日から一部展示替えあり)

田中絹代プロフィール

1909年11月29日下関市生まれ。14歳の「元禄女」で映画デビュー、20歳前後には鈴木伝明、林長二郎の相手役として人気を得る。28歳の「愛染かつら」は伝説的ヒットとなり、戦後も溝口、小津、成瀬らの巨匠に起用され、「恋文」で劇映画女性監督となる。1977年3月21日逝去、享年67。



資料協力：下関市 / 田中絹代ぶんか館 (下関市文化振興財団) / 芸游会

映画観賞料金

一般 800円 | 小・中学生 400円

〔記念館窓口、島森書店(鎌倉店)、たらば書房にて先売券販売〕

全作品午後1時からの上映

映画観賞券のご提示で特別展もご覧いただけます。

<p>9月6日(火)~8日(木)</p> <p>映画女優</p> <p>先売券発売 8月20日(土)</p> <p>◎制作年 1987年 / 130分 / 35mm◎監督：市川崑◎撮影：五十畑幸美◎出演：吉永小百合、森光子、宮原文太、中井貴一、石坂浩二</p> <p>新藤兼人監督の著作「小説・田中絹代」を映画化。絹代をめぐる映画人が実名に近い役名で登場、映画史の一端が生々しく展開される。</p>	<p>9月23日(金・祝)~25日(日)</p> <p>煙突の見える場所</p> <p>先売券発売 8月20日(土)</p> <p>◎制作年 1953年 / 108分◎監督：五所平之助◎撮影：三浦光雄◎出演：上原謙、田中絹代、高峰秀子、芥川比呂志</p> <p>椎名麟三原作の「無邪気な人々」を映画化。東京・北千住の貸家に住む夫婦と二人の独身男女の日常風景とざこざない交流を描く。</p>	<p>10月18日(火)~20日(木)</p> <p>流れる</p> <p>先売券発売 9月17日(土)</p> <p>◎制作年 1956年 / 117分 / 35mm◎監督：成瀬巳喜男◎撮影：玉井正夫◎出演：田中絹代、山田五十鈴、高峰秀子、杉村春子</p> <p>幸田文の出世作を映画化。原作者の分身を田中が演じ、没落花柳界の人間関係を描いた秀作。新旧豪華女優陣の競演が見もの。</p>	<p>11月4日(金)~6日(日)</p> <p>彼岸花</p> <p>先売券発売 10月15日(土)</p> <p>◎制作年 1958年 / 118分 / 35mm◎監督：小津安二郎◎撮影：厚田雄春◎出演：佐分利信、田中絹代、有馬稲子、久我美子</p> <p>娘の結婚をめぐる父親の心境と葛藤が、小津様式でユーモラスに描かれる。最初のカラー作品で、以後の彼の作風を決定づける。</p>
<p>9月9日(金)~11日(日)</p> <p>西鶴一代女</p> <p>先売券発売 8月20日(土)</p> <p>◎制作年 1952年 / 137分 / 35mm◎監督：溝口健二◎撮影：平野好美◎出演：田中絹代、三船敏郎、宇野重吉、山根寿子</p> <p>江戸期の戯作「好色一代女」の映画化。男に弄ばれる女の一生を描いた、溝口と田中の代表作。ヴェネツィア国際映画祭国際賞を受賞。</p>	<p>10月4日(火)~6日(木)</p> <p>山椒大夫</p> <p>先売券発売 9月17日(土)</p> <p>◎制作年 1954年 / 124分 / 35mm◎監督：溝口健二◎撮影：宮川一夫◎出演：田中絹代、香川京子、花柳喜重、進藤英太郎</p> <p>森鷗外の同名小説の映画化で原作の姉弟が映画では兄妹の設定。溝口がヴェネツィア国際映画祭で三たび受賞の栄誉に浴した名作。</p>	<p>10月21日(金)~23日(日)</p> <p>異母兄弟</p> <p>先売券発売 9月17日(土)</p> <p>◎制作年 1957年 / 110分◎監督：家城巳代治◎撮影：宮島義勇◎出演：田中絹代、三国連太郎、中村錦之助、飯田蝶子</p> <p>軍国主義を絵に描いたような軍人の家庭で、無理矢理後妻にさせられた女性と不倫の子の苦悩を描く。ベルリン国際映画祭出品作品。</p>	<p>11月15日(火)~17日(木)</p> <p>サンダカン八番娼館・望郷</p> <p>先売券発売 10月15日(土)</p> <p>◎制作年 1974年 / 121分 / 35mm◎監督：新井善喜◎撮影：金宇満可◎出演：田中絹代、粟津小巻、高峰秀子、水の江滝子、田中健</p> <p>貧しきゆえ東南アジアへ娼婦として身を売られた「からゆきさん」。その晩年を演じた田中はベルリン国際映画祭主演女優賞受賞。</p>
<p>9月19日(月・祝) 21日(水) 22日(木)</p> <p>愛染かつら (総集編)</p> <p>先売券発売 8月20日(土)</p> <p>◎制作年 1938年 / 89分 / 35mm◎監督：野村浩将◎撮影：高橋通夫◎出演：田中絹代、上原謙、佐分利信、高杉早苗</p> <p>メロドラマの代名詞であり、原作以外の「続編」「完結編」も作られ、映画史上空前の大ヒット作。主題歌「旅の夜風」も大ヒット。</p>	<p>10月7日(金)~9日(日)</p> <p>渡り鳥いつ帰る</p> <p>先売券発売 9月17日(土)</p> <p>◎制作年 1955年 / 129分 / 35mm◎監督：久松静児◎撮影：玉井正夫◎出演：田中絹代、森繁久弥、高峰秀子、岡田茉莉子</p> <p>永井荷風が愛した下町「鳩原」の風俗店を舞台に、強欲な田中、気弱な夫の森繁、破天荒な娼婦役の高峰の三人の競演が見事。</p>	<p>11月1日(火)~3日(木・祝)</p> <p>楳山節考</p> <p>先売券発売 10月15日(土)</p> <p>◎制作年 1958年 / 98分 / 35mm◎監督：木下高介◎撮影：柳田浩之◎出演：田中絹代、高橋貞二、望月優子、市川右太衛門(源之助)</p> <p>堯捨て伝説に基づく深沢七郎の話題作の映画化。義太夫節による歌舞伎様式のこの大作で、田中は面を数本抜いて老け役に徹した。</p>	<p>11月18日(金)~20日(日)</p> <p>お吟さま</p> <p>先売券発売 10月15日(土)</p> <p>◎制作年 1962年 / 101分 / 35mm◎監督：田中絹代◎撮影：宮島義勇◎出演：有馬稲子、伴淳三、中村錦之助、高峰三枝子</p> <p>直木賞受賞作の映画化。茶道の創始者、千利休の娘とその恋人との悲恋物語が絢爛豪華に描かれる。田中の監督6作目で最後の作品。</p>